

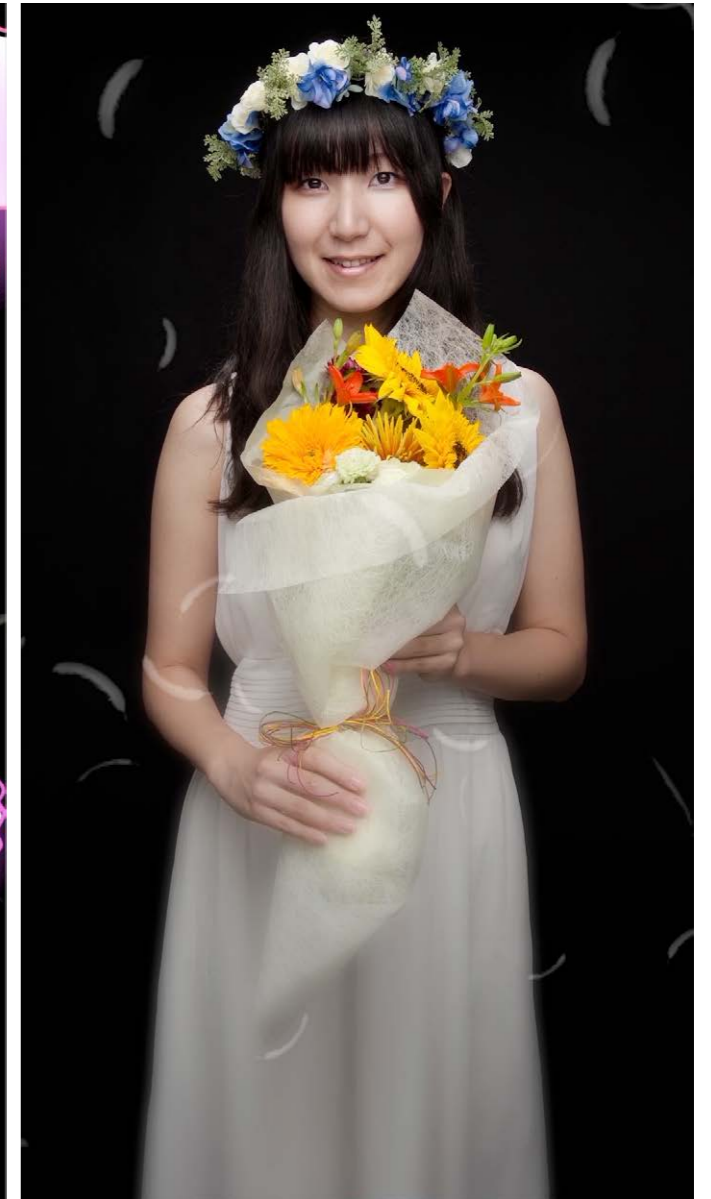
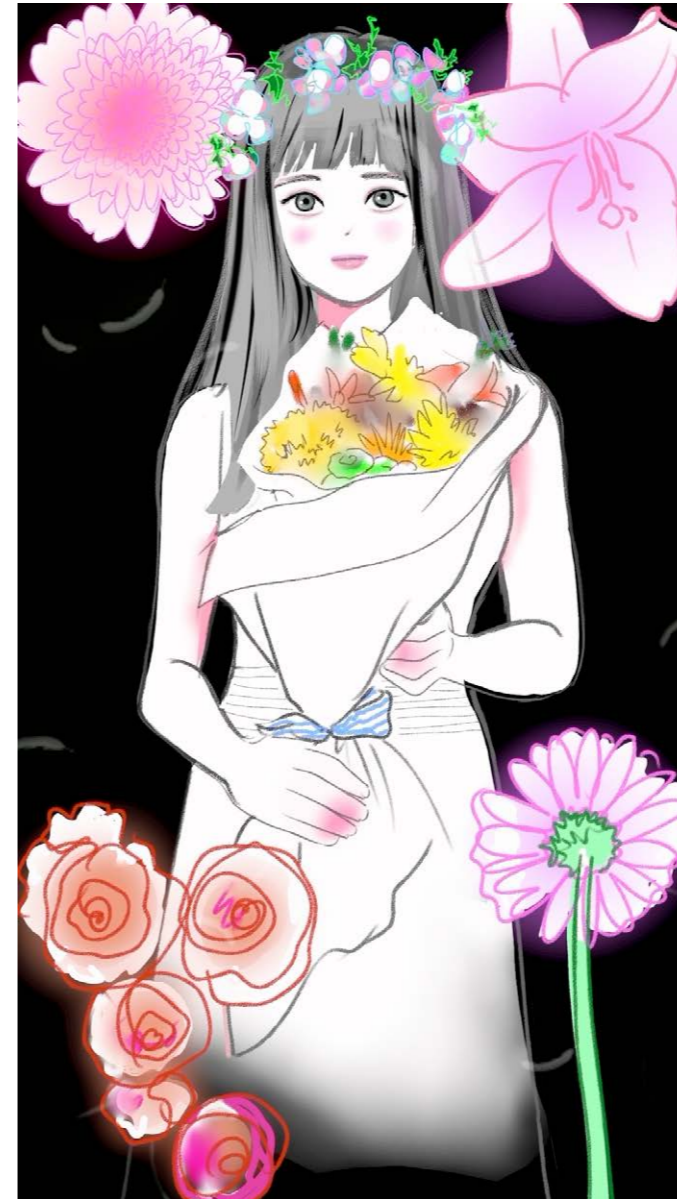
「色花」

マンガ学科 よしまさこ Masako Yoshi

写真学科 酒井孝彦 Takahiko Sakai



マンガと写真と云う長らく紙媒体を使ったこの2つのジャンルのアートは、このごろでは「電子媒体」での展開も著しい。スマホの中で見るマンガや、SNSで日々新たな写真があがっているわけだ。ではそうした2つのジャンルが電子媒体上でコラボレーションするとどのようなケミストリーが生まれるかと云うと、ここに映像表現も入ってくる。果たしてそれは「マンガ」か「写真」か「映像」かと云う事を問う事に神経を注ぐより、そこから派生して生まれでてくるものを想像する方が良いであろう。この作品はそういったヒントを含んだもので、こういう表現も出来るのだと云う事からまた「次の時代」のアートへのヒントになるものである。そしてこの作品だけでも面白い作品だと云う事である。



よしまさこ・横浜国立大学経済学部国際経済学科卒。大学在学中に集英社週刊マーガレットまんが賞に入賞。以後、おもに集英社、小学館、講談社等の漫画雑誌を中心に執筆。幅広い作品を35年以上にわたって描き続けている。著書多数。代表作に「BooBoo」「うてなの結婚」「横浜迷宮」「アンネフランク」2016年9月に新作を含む「もういちど会いたい～よしまさこ蔵出しベスト」(興陽館)を刊行。愛猫家で猫マンガ作品も多い。



酒井孝彦・東京造形大学造形学部デザイン学科I類写真コース卒。株式会社日本デザインセンター写真局をはじめ数社を経て工芸大学に赴任。(公)日本広告写真家協会、現代美術家協会(委員)等、幾つかの公的団体に所属。受賞歴多数。著書「crescent flowers」はじめ数冊を刊行。長らくバンド活動、作曲活動を経て細々と作曲活動を継続 CD 数枚発表。